

西濃厚生病院総合診療専門研修プログラム

本プログラムは、地域のプライマリ・ケアを担う診療所や二次救急病院、救命救急センターなどの各施設が相互に連携しており、多様な初期診療を経験できるのが大きな特徴です。西濃医療圏の基幹施設である西濃厚生病院では急性期病床のみならず回復期病床、緩和ケア病床も有しており、ファーストタッチから入院管理、退院指導までの一連のプロセスや終末期医療まで網羅して学べます。さらに、院内の各診療科間の円滑な連携により、自由選択期間には整形外科や外科、耳鼻科などの専門医のもとで、集中的に初期対応を研修することも可能です。

	総診Ⅰ	総診Ⅱ	内科	小児科	救急
西濃厚生病院		○	○	○	○
岐阜大学医学部附属病院		○			
中濃厚生病院		○		○	
西美濃厚生病院		○			
揖斐川町春日診療所	○				
谷汲中央診療所	○				
いびがわ診療所	○				
揖斐川町久瀬診療所	○				

専門研修コース例

機関施設： JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院

連携施設： 岐阜大学医学部附属病院

JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 中濃厚生病院

JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院

公益社団法人地域医療振興協会 揖斐川町春日診療所

公益社団法人地域医療振興協会 谷汲中央診療所

公益社団法人地域医療振興協会 いびがわ診療所

公益社団法人地域医療振興協会 揖斐川町久瀬診療所

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	領域別研修：内科（基幹施設）12ヶ月											
2年目	領域別研修：救急 （連携施設）				領域別研修：小児 （基幹施設または連携施設）				総合診療専門研修Ⅱ （基幹施設または連携施設）			
3年目	総合診療専門研修Ⅱ（連携施設） または、 総合診療専門研修Ⅰ（連携施設）						総合診療専門研修Ⅰ（連携施設）					

1. 西濃厚生病院総合診療専門研修プログラムについて

現在、地域の病院や診療所等の医師がかかりつけ医として地域医療を支えています。今後の日本社会の急速な高齢化等を踏まえると、幅広い健康問題に対して適切かつ迅速な初期対応等を行う医師が求められます。そのような背景のなか、総合的な診療能力を有する医師を育成し、さらに、その専門性を評価するために新たな基本診療領域の専門医として、総合診療専門医が位置付けられました。

本プログラムでは、地域のプライマリ・ケアを一手に担う診療所、二次救急診療を中心とした西濃圏域の地域総合病院、さらに、救命救急センターを有し重症患者の診察等を十分に行うことができる医療施設が相互に連携することにより、様々な形で患者の初期診療に携わることが可能なプログラムとなっています。

また、本プログラムの基幹施設である西濃厚生病院は、回復期リハビリ病床や地域包括ケア病床を有していることから、ファーストタッチだけではなく入院管理から退院指導まで一連の経験をすることが可能です。

さらに、本プログラムの特徴でもある基幹施設の西濃厚生病院における院内各診療科間の円滑な連携により、研修中における自由選択期間の各診療科（整形外科、外科、耳鼻科 等）の初期対応についても、専門医のもとで集中的に研修することも可能です。

なお、本研修プログラムでは、

1. 総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）
2. 総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）
3. 内科
4. 小児科
5. 救急科

の、5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。

このことにより、

1. 人間中心の医療・ケア
2. 包括的統合アプローチ
3. 連携重視のマネジメント
4. 地域志向アプローチ
5. 公益に資する職業規範
6. 診療の場の多様性

という総合診療専門医に欠かせない6つのコアコンピテンシーを効果的に習得することが可能になります。

2. 研修の週間計画及び年間計画

総合診療専門研修Ⅱ（代表例）

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	救急診療	緩和ケア診療	外来診療	外来診療
午後	病棟業務 症例検討会	病棟業務 総合カンファレンス	病棟業務 症例検討会	救急診療	病棟業務 症例検討会
宿直（2回/月）、日直（1回/月）					

総合診療専門研修Ⅰ（代表例）（連携施設により異なります）

	月	火	水	木	金
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	在宅診療 地域ケア会議	在宅診療	在宅診療	在宅診療	在宅診療 症例検討会

内科（代表例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:30～ 12:30	救急外来	消化器内科初診	心臓カテーテル検査	上部消化器内視鏡検査	循環器内科初診
12:30～ 13:15	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩
13:00～ 15:00	消化器系検査	消化器系検査	消化器系検査	消化器系検査	病棟回診
15:00～ 16:00	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	救急外来
16:00～ 17:15	症例検討	症例検討 外科合同症例検討会	症例検討	症例検討	
17:15～		内科カンファレンス、勉強会			
宿直（2回/月）、日直（1回/月）					

小児科（代表例）

	月	火	水	木	金
午前	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務
午後	専門外来診療 病棟業務	専門外来診療 乳児健診 病棟業務	ミニレクチャー カンファレンス 病棟業務	専門外来診療 乳児健診 病棟業務	専門外来診療 病棟業務

※受け持ち症例に応じたミニレクチャー・カンファレンスを随時行います。

救急（代表例）

	研修内容
午前	● ICU、救命病棟カンファレンス ● 救急車搬送患者の診療 ● ICU、救命病棟受け持ち患者診療
午後	● 午前に同じ ● 救急外来患者診療（トリアージ研修、週1回） ● 救急搬送事後検証会（月1回）、救急医学勉強会（年4回）

3. 本研修プログラムに関連した全体行事の年度スケジュール

月	全体行事予定
4月	1 年次：研修開始。専攻医氏名報告書の配布 2 年次、3 年次、研修修了予定者： 前年度分の研修記録が記載された研修手帳を月末までに提出 指導医・プログラム統括責任者：前年度の指導実績報告の提出 第 1 回研修プログラム管理委員会：研修実施状況評価、修了判定 日本専門医機構による総合診療専攻医オリエンテーション 次年度 PG の日本専門医機構への変更申請
5月	研修修了者：専門医認定審査書類を日本専門医機構へ提出
7月	研修修了者：専門医認定審査（筆記試験、実技試験） 次年度専攻医の公募および説明会開催
9月	第 2 回研修プログラム管理委員会：研修実施状況評価 公募締切（9 月末）
10月	全学年：研修手帳の記載整理（中間報告） 次年度専攻医採用審査（書類及び面接）
12月	第 3 回研修プログラム管理委員会：研修実施状況評価、採用予定者の承認
3月	研修年度の研修終了 全学年：研修手帳の作成（年次報告） 全学年：研修プログラム評価報告の作成（書類は翌月に提出） 指導医・プログラム統括責任者：指導実績報告の作成（書類は翌月に提出）

※ 年度スケジュールには掲載していませんが、関連学会には積極的に参加します。

※ 研修プログラム委員会はオンラインでも参加可能とします。